

## ■第7章

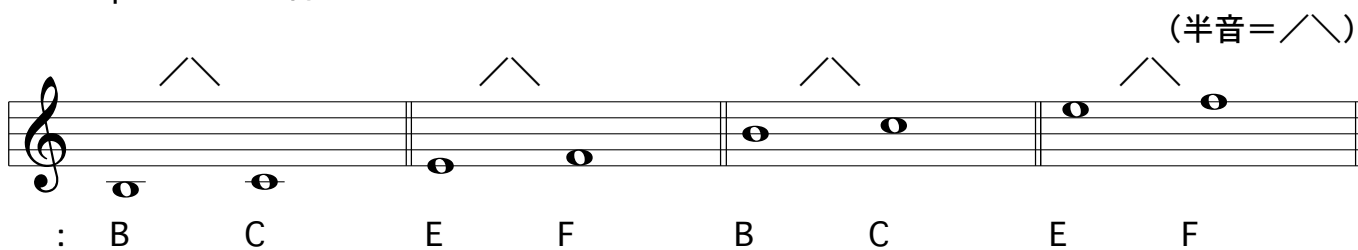
- 1) 半音と全音(half step&whole step)
  - 2) メジャー・スケール (major scale/長音階)
    - 2-1) 「#」を使ったメジャー・スケール
    - 2-2) 「b」を使ったメジャー・スケール
  - 3) 機能音名 (diatonic function)
- 

音楽の様々なメロディーやハーモニーは、「スケール」(scale/音階)を構成している音を組み合わせで作られています。「スケール」とは、ある基本の音から高さの違う音を規則的に1オクターブ内に並べたもので、現在の音楽では一般的に「メジャー・スケール」(major scale/長音階)と「マイナー・スケール」(minor scale/短音階)が使われています。ここでは様々なスケールを学ぶ前に、まず「半音」と「全音」について正しく理解しましょう。

### 1) 半音と全音(half step&whole step)

高さの違う隣り合った二つの音の間隔には「半音」と「全音」の二種類があります。「半音」(half step/half tone)とは、二つの音の間隔が一番狭い状態を指し、ギターやベースのフレット一つ分の音の幅にあたります。

example 7-1 : 半音



「全音」(whole step/whole tone)とは、二つの音が半音二つ分の間隔を意味し、フレット二つ分の音の幅にあたります。

example 7-2 : 全音

